



きもちいいね

園長 岩本 卯月

朝夕の寒暖差は大きいですが、そよぐ風が気持ちのよい季節になりました。夏ミカンの葉はつやつやと輝き、アゲハ蝶が卵を産みに飛んできています。アジサイも色づいてきました。池袋幼稚園の豊かな環境が、子どもたちを園庭へと誘っています。

戸外では、太陽の光の強さや日陰のひんやりとした感覚、砂や水の感触、花や草のにおいなど、五感を刺激するものがたくさんあります。子どもたちはそれらを身近に感じながら、鬼ごっこや砂場での水を使った遊び、せっけんを使った泡遊びやままごとを、伸び伸びと楽しんでいます。りす組さんは、自分たちで製作したパフェを持って、みらい館大明のグラウンドへピクニックごっこに出かけました。担任は、楽しさ気持ちよさを感じながらたくさん身体を動かしてほしいと願い、子どもたちの興味を探りながら、遊びの準備を工夫しています。梅雨に入る前にたくさん身体を動かしていきたいですね。



ぶどう組のみんなで鬼ごっこ(しっぽとり)



広い大明グラウンドでかけっこ



「カエルさん、またね」

また、この季節は小さな命とたくさん触れ合うことができます。ぶどう組の保育室で育てていたオタマジャクシに手足が生え、小さなカエルになりました。担任と子どもたちと相談し、みらい館大明のビオトープに放すことを決めたぶどう組さんは、一匹ずつ丁寧に水へと入れてあげていました。りす組さんも、園庭でダンゴムシを見つけ、カップにたくさん集めていました。小さな命とのお付き合いから、慈しみの心を育てていきます。

保護者の方による絵本の読み聞かせも始まりました。子どもたちはおうちの方のお話に夢中になっていました。様々な方と触れ合える、池袋幼稚園の特色のひとつです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



5月は『わににわにのおふろ』と『スイミー』を読んでもらいました。